

平成31年令和元年度 佐賀市立中川副小学校 学校評価計画

<b>1 学校教育目標</b>  気づき、考え、実行する子どもの育成 ～博愛の里 伸びゆくわれら 中小っ子～	<b>2 本年度の重点目標</b> 1. 基礎学力の定着、活用力の向上を目指す。【学力向上】 国語科を中心として「伝え合う力を高める」研究を行う。 2. ボランティア活動や地域との交流活動を通して、自己肯定感や有用感を培い、夢や自分の意見を人前でも堂々と自己表現できる児童を育てる。
---	--

**3 目標・評価**

**① 基礎学力の定着、活用力の向上を目指す。【学力向上】**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	基礎学力の定着と自己学習力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもち、分かりやすく伝える児童を育成する。また、学力向上につながる授業改善に努めていく。</li> <li>学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣を定着させる。インターネット等の使用時間やそれに伴う睡眠時間も合わせて、改善に向けた指導を強化していく。目標時間達成児童を90%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科の校内研究を深め、授業に言語活動を積極的に取り入れる。</li> <li>「家庭学習がんばろう週間」を偶数月に設定し、目標学習時間だけでなく、内容も吟味する。</li> <li>効果的なノートづくりに取組ませる。</li> </ul>
学校運営	○教職員の資質向上	研究授業・職員研修の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究を推進し、全員が研究主題に基づいた研究授業を行う。</li> <li>特別支援教育、生徒指導などの職員研修会を年間3回以上行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業を年間計画に位置づけ、外部講師を招聘し研修会の質を高める。新たに、環境整備部を新たに設置し、中川副スタイルを作る。</li> <li>必要に応じ、随時巡回相談等を活用し、職員一人ひとりの研修を積む。</li> </ul>

**② ボランティア活動や地域との交流活動を通して、堂々と自己表現できる児童、自分に自信がもて夢を語れる児童を育てる。**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	ボランティア活動の推進  特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動を通して「気づき・考え・実行する」を行動化させ、「できた」といえる児童を80%以上にする。</li> <li>児童の実態を把握し、一人ひとりに応じた適切な支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>VS週間の強化、美化活動、ごみ拾い、花壇の花の管理を日常化させる。</li> <li>活動の意義を振り返らせたり、地域からの声を児童に返したりすることで、児童の自己有用感を高める。</li> <li>月1回の生徒支援会議で実態把握、支援の共通理解を図る。個別の支援計画を作成し、具体的な支援内容を決め、実践する。</li> </ul>
教育活動	●いじめ問題への対応	道徳教育、人権・同和教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別な教科「道徳」を充実させる。</li> <li>「いじめ・命を考える日」を中心に児童の人権意識を高める。</li> <li>心のアンケートの「悲しかったこと・嫌だったこと」の項目の記載を減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権・同和教育の視点を取り入れた教材による道徳の授業実践に取り組む。</li> <li>支援会議の見直しにより、「〇月の心」の活用や気になる児童について広げていく。</li> </ul>
教育活動	●健康・体づくり	健康増進・体力の向上  運動に親しむ習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健便りを月1回発行し、その時々の問題を家庭に啓発する。</li> <li>食事の意義を理解し、朝食の喫食率95%を維持する。</li> <li>休み時間の外遊びを奨励し、なわとび等で児童の体力アップを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早寝早起きや規則正しい食生活についての指導や、掲示等による啓発を行い、家庭を巻き込んだ対策をとる。</li> <li>スポーツ大会や「さがんキッズスポーツチャレンジ」等で、「投げる運動」に積極的に取り組ませる。</li> </ul>
学校運営	●志を高める教育	「博愛の里子どもづくり」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>中川副まちづくり協議会・老人クラブ等との連携を深め、郷土愛を育てる。</li> <li>佐野常民生誕の地に生まれ育ったことを誇りに思う児童を90%以上にし、夢をもって自分を語る児童を80%以上にする。</li> <li>小中連携、小小連携、幼小連携を深めるとともに、幼・保・小・中間の教職員の情報交換・共通理解をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史について学習を深めている高学年の意識は高いが、下学年にも親しみやすいやり方で取り上げていく。</li> <li>全ての教科、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。</li> </ul>
学校運営	○開かれた学校づくり	保護者・地域社会と学校の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観や学級懇談会等の行事への参加率を80%に上げる。</li> <li>学校便り発行を月に1回以上行う。</li> <li>ホームページの更新を随時行い、活動の様子を知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じ、通信や文書での案内に加え、メールで臨機応変知らせしていく。</li> <li>保護者や地域に広くアピールしていけるよう、HPの更新に努める。</li> </ul>

**本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	校務等の効率化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分掌間の連携及び情報共有を図り、効率的な業務への取組を推進するとともに、教職員の時間外勤務について前年度一人平均246時間を、20%減の196時間にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議の回数を減らし、職員連絡会を充実させる。また、ペーパーレスで行う。</li> <li>通知表の所見等、自己で責任をもって行い、下書き提出を最大限延ばす。</li> <li>個々人が業務の効率化を意識するよう、退勤時刻を視覚化する。</li> <li>年休の計画的取得ができるように、研修、学校行事等を工夫して設定する。</li> </ul>

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目